

Challenging BBC on DVD

BBCドキュメンタリーに挑戦

Akira Morita

Jeffrey Miller

Atsushi Chiba

Akihiko Sato

Nobuko Osada

 **SEIBIDO**

はしがき

本書は、好評をいただいている2編のDVD教材、*Welcome to BBC on DVD*『BBCドキュメンタリーの世界によろこそ』と*BBC Short Clips on DVD*『やさしい英語で学ぶBBCドキュメンタリー』の上級編として編まれました。もちろん、単独の教材としてもお使いいただけるのですが、これら3編の教材は、一つのシリーズとして、基本的考え方に基づき、学生の習熟度に合わせて、学生が各段階で無理なく英語を学習し、力を伸ばせるように配慮されています。この3書の主な共通点は、

1. 定評あるBBCドキュメンタリーの映像と内容を十分に活用していること
2. BBCの世界に自然に入っていけるように、無理のない英文を用いていること
3. DVDと、その内容把握の道しるべとなり英語力の増進と定着をはかるテキストを有機的に結びつけていること
4. さらに、DVDの基本的操作は共通でありながら、レベルに応じたタスクの展開をしていること

です。Self-Study DVD と Classroom DVD との併用も3書とも共通しています。

Self-Study DVD の目的は、学生諸君に、授業前 → 授業中 → 授業後 と、十分にこの教材を活用してもらう事ですが、今回は、聞き取りに集中できるナレーションのみの音声をつけ加え、利用率を上げました。Classroom DVD は前作同様、単に映像が納められているのではなく、テキストにはないタスクと、テキストのタスクの確認部分があります。また、デジタルのDVDを用いることにより、普通教室でもCALL教室でも、

1. ドキュメンタリーとタスクの提示がスムーズにできる
2. このため、授業のリズムを崩さず、不要な時間をとられることがない

だけでなく、美しい映像と音声により、学生諸君に余計なストレスをかけることはありません。もちろん、DVDの操作性も、レベルに合わせながら高めました。

こうした共通点を持ちながら、本書 *Challenging BBC on DVD*『BBCドキュメンタリーに挑戦』では、上級編に相応しい工夫とタスクも盛り込みました。Warming Up では、より考えることを重視し、top-down, bottom-upの各タスクでは「読み」の要素を増やしてあります。そして、最大の特徴は、その読みを300語程度のFurther Readingにまで広げたことです。このFurther Readingによって、それぞれの課の話題が広がりを持ち、学生諸君の更なる興味を引き出してくれると思っています。また、ここでは重要な表現も身につけることになります。

内容のある素材をtop-down とbottom-upの2方向から理解する事は、言語体験を知識とし、それを運用できるようにするために、基本的かつ極めて有効な活動です。そして、本書でも、学生諸君は、映像教材を用いることによって、母語である日本語を間に入れることなく、ことばの持つイメージを体感し楽しみながら、一步一步英語学習の階段を上って行ってください。

最後になりましたが、企画の段階から多大のサポートとアドバイスをくださった、成美堂の佐野英一郎社長、編集の佐藤公雄氏に深く感謝いたします。また、我々の細かい「注文」を的確に実行してくださった、DVD制作の誠音社の染谷正博氏にも御礼申し上げます。

2011年夏

著者一同

本書の使い方

本書にはSelf-study DVDが添付されています。各章の本編映像がイギリス英語とアメリカ英語のナレーションで収録されているほかに、ナレーション(イギリス英語)のみの音声とVI. Further Readingの本文部分の音声収録されています。目的に合わせて、自習や復習に活用してください。なお、本書の多くのタスクはClassroom DVDと連動しています。授業中の作業の進め方等については、授業担当者の指示に従ってください。

I Warming Up

DVDの本編を見る前に、各章の話題に関連する質問に答えます。2つの質問に対して記入欄が3つずつ設けられていますので、様々な視点から自由に答えてください。十分な回答が思いつかない場合は、インターネットなどで調べるのもよいでしょう。記入が終わったら、周りの仲間とそれぞれの意見について話し合いをします。仲間の考えを聞き、自分の考えを説明することで、より良い回答を導き出してください。

II Get the Outline

4つの質問に答えて、本編の概略を掴みます。質問文はテキストに掲載されていますが、解答の選択肢は掲載されていません。本編を見た後、Classroom DVDの選択肢の音声を聞いて、適切な答えを選んでください。先に質問文を読み、DVDを見ながらメモを取るようなとよいでしょう。解答の確認が終わったら、それぞれの写真がどんな場面を映し出しているのか確認してみましょう。説明することで、話の大筋の理解が進むはずですよ。

III Vocabulary Check

本編の中に出てくる重要な単語を確認します。**A**ではそれぞれの単語の意味を選択肢から選びます。単語の意味は、本編中の語義と品詞に一致するように示されていますので、内容理解の助けにもなるはずですよ。**B**は**A**で学んだ単語を文の中で使ってみる練習です。適切な英文になるように単語を選びましょう。また、自分自身でもそれぞれの単語を使って英文を作ってみましょう。

IV Visual Comprehension

本編の内容に関する質問に対して、最も適切な答えを選択肢から選びます。DVDを見る前に、質問文と選択肢を読んで、聞き取りのポイントを確認しておきましょう。やや細部に関わる質問も含まれますので、注意深くDVDを見る必要があります。

V True or False

Classroom DVDの音声を聞き、それぞれの文が本編の内容に照らし合わせて、正しい(True)のか、間違っている(False)のかを判断します。間違っている場合には、「どこが間違っているのか」を指摘し、正しい文に言い換えてみましょう。なお、ここで出てくる4つの文をうまく活用すると、本編の要約の文章を完成することができます。各章の最終確認として、またある程度まとまった量の文章を書く練習として、ぜひ挑戦してみてください。

VI Further Reading

300語前後の文章を読んで、各章の話題についてさらに理解を深めていきます。それぞれの文章はDVD本編の内容をさらに掘り下げたものや、本編に出てきた話題を別の角度から論じたものなど、多彩で興味深いものになっています。まずはreadingを楽しんでみましょう。

Comprehension Check

Classroom DVDの質問文の音声を聴いて、最も適切な答えをテキストの選択肢から選びます。どれくらい本文を理解できているのか確認してください。質問はあまり長くはありませんが、何が問われているのかをきちんと捉えることも必要になります。選択肢を見て、どんな質問がされるのかを予想してみるのも良いでしょう。

Useful Expressions

まず、Classroom DVDの音声を聞き、聞こえてくる2つの英文を書き取ります。それぞれの英文には本文中に出てきた「役立つ表現(useful expression)」が含まれています。本文中でどのように使われているのか確認してみましょう。

つぎに、「役立つ表現」を使って自分自身で自由に英文を作ってみます。それぞれに一つずつの記入欄が用意されていますが、できるだけ多くの文を考えてみましょう。

聞き取りのポイント Listening Tips

本書の大きな特徴の1つは、ナレーションがイギリス英語とアメリカ英語で録音されているということです。イギリス英語にはあまり馴染みがないという人もいるかもしれません。普段あまり耳にする機会がないため、イギリス英語がどのようなものかよく分からない人もいるでしょう。付属のSelf-Study DVDにはイギリス英語とアメリカ英語の両方のナレーションが入っていますので、ぜひこの機会に聞き比べることをお勧めします。

それではイギリス英語とアメリカ英語の違いとは何でしょうか？17世紀ごろにイギリス人がアメリカに渡って以来、徐々に「アメリカ英語」と呼ばれるものが形成されました。現在、主な違いは以下のように、スペリング・文法・語彙にみられます。

- ◆ スペリング: colour (英) / color (米)
centre (英) / center (米)
programme (英) / program (米) など
- ◆ 文法: burn - burnt - burnt (英) / burn - burned - burned (米)
Have you a pen? (英) / Do you have a pen? (米)
Come and take a look. (英) / Come take a look. (米) など
- ◆ 語彙: flat (英) / apartment (米)
taxi (英) / cab (米)
ground floor (英) / first floor (米) など

また、さらに顕著な違いは「発音」に現れます。皆さんは Ella Fitzgerald と Louis Armstrong のデュエット曲 “Let’s Call the Whole Thing Off” という歌を聞いたことがあるでしょうか？

カップルの一人は *either* を「イーザー」と発音するのに、もう片方は「アイザー」と発音し、*neither* は「ニーザー」と「ナイザー」となる。*potato* は「ポテイトウ」と「ポタートウ」、*tomato* は「トメイトウ」と「トマートウ」。ああ、もうやめにしようよ! という曲です。イギリス英語とアメリカ英語の発音の違いをよく表している曲ですね。

You say *eether* (either) and I say *eyether* (either),
You say *neether* (neither) and I say *nyther* (neither);
Eether, eyether, neether, nyther,
Let’s call the whole thing off!
You like *potayto* (potato) and I like *potahto* (potato),
You like *tomayto* (tomato) and I like *tomahto* (tomato);
Potayto, potahto, tomayto, tomahto!
Let’s call the whole thing off!

イギリス英語とアメリカ英語の発音の違いについては一般的に以下のような特徴が挙げられます。

- (1) 母音の後ろの /r/ はイギリス英語では発音されないが、アメリカではニューイングランド東部などを除いて発音されるのが普通である。
e.g., car, poor, learn
- (2) アメリカ英語では、母音にはさまれた /t/ が有声化し、[d] かそれにきわめて近い音になることがある。したがって、latter と ladder は音声上の区別がなくなる。
e.g., better, letter, pretty
- (3) イギリス英語では長母音の /ɑ:/ になるものが、アメリカ英語では /æ/ の発音になるものがある。
e.g., ask, can't, half

その他にも route, vase, herb など、日常的によく使われる単語にも発音の異なるものが数多くあります。辞書で調べておくと良いですね。

本書はイギリス英語とアメリカ英語を聞き比べるには最適ですので、ぜひこの機会にチャレンジしてみてください。Chapter 1 The Power of the Face だけでもざっと以下の単語において発音の違いがみられます。

identifiable	(母音に挟まれた /t/)
identify	(母音に挟まれた /t/)
here	(母音の後ろの /r/)
mask	(/ɑ:/ と /æ/)
can't	(/ɑ:/ と /æ/)
monitor	(母音の後ろの /r/)
store	(母音の後ろの /r/)

また、Chapter 2 Prince William では故ダイアナ元妃とウィリアム王子、Chapter 7 Queen Elizabeth II ではエリザベス女王の肉声を聞くことができます。さらに、ナレーションもイギリスでも全人口の5%ほどしか話していないとされる容認発音 (Received Pronunciation) ですので、じっくりと聞いてみてください。

私たちが「イギリス英語」と言う時は、学校で学ばれたりテレビ放送で使用されるような標準的な英語を指しますが、イギリスには数多くの方言があります。Chapter 6 の Further Reading で紹介されている Cockney (コックニー) が代表的なもので、発音の特徴の1つとして「エイ」が「アイ」となるということが挙げられます。I'm going today. が I'm going to die. に聞こえてしまうというわけですね。

一方、「アメリカ英語」は先住民・黒人・スペイン語を話す入植者などからの様々な影響を受けながら独自に形作られました。一口に「英語」と言っても多くのバラエティーがありますから、グローバル化している現在、いろいろな英語の発音を聞いて理解できるようになれるといいですね。

Contents

はしがき	1
------	---

本書の使い方	2
--------	---

聞き取りのポイント	4
-----------	---

	チャプタータイトル	シリーズ	
Chapter 1	The Power of the Face	<i>Weird Science</i>	8
Chapter 2	Prince William	<i>Royal Portraits</i>	14
Chapter 3	Polar Bears	<i>First Steps 2</i>	20
Chapter 4	The Taj Mahal	<i>World's Wonders</i>	26
Chapter 5	Animal Attire	<i>Style Trek</i>	32
Chapter 6	Red Kangaroos	<i>First Steps 2</i>	38
Chapter 7	Queen Elizabeth II	<i>Royal Portraits</i>	44
Chapter 8	Dress to Impress	<i>Style Trek</i>	50
Chapter 9	The Statue of Liberty	<i>World's Wonders</i>	56
Chapter 10	Dream Soundtracks	<i>Weird Science</i>	62
Chapter 11	Queen Victoria	<i>Royal Portraits</i>	68
Chapter 12	The Great Wall	<i>World's Wonders</i>	74
Chapter 13	Attention to Detail	<i>Style Trek</i>	80
Chapter 14	All Spun Out	<i>Weird Science</i>	86

Chapter 1 The Power of the Face



I Warming Up

Write some points for a discussion of these questions with your partner.

1. What distinguishes human beings from other animals?

1: _____
2: _____
3: _____

2. For what purpose do people use facial expressions?

1: _____
2: _____
3: _____



II Get the Outline

■ Watch the DVD and answer the questions.



1. What can social animals recognize?

- a
- b
- c
- d



2. What does the baby show a strong interest in?

- a
- b
- c
- d



3. What is being monitored by the electrode net on this baby's head?

- a
- b
- c
- d



4. What are only chimpanzees and humans able to do?

- a
- b
- c
- d

IV Visual Comprehension

■ Watch the DVD and choose the most appropriate answer.

1. Why does a card that shows a face hold a baby's attention?
 - a. Because babies tend to recognize it as their mother's face.
 - b. Because babies have strong interest in human faces.
 - c. Because human beings tend to react to an emotionless face.

2. What happens when we see the back of a mask?
 - a. We recognize it as the back of the mask because of the shadow.
 - b. The mask looks as if it is facing us because of the way our brain works.
 - c. The hollow parts cause us to misunderstand the size of the mask.

3. How do the baby's brainwaves react in the experiment?
 - a. If the baby recognizes the face, the brainwaves rapidly increase.
 - b. If the face is familiar to the baby, the brainwaves are stable.
 - c. If the baby doesn't know the face, the brainwaves fluctuate.

4. Why can Ollie and Teagen recognize themselves in the mirror?
 - a. Because they passed a test conducted by the experimenter.
 - b. Because they have the ability to recognize each other.
 - c. Because they have already acquired self-awareness.

V True or False



■ Listen to the DVD and decide whether the statements are true or false.

1. True False

2. True False

3. True False

4. True False

■ Read the following passage.

What Attracts Us to Certain Persons' Faces

Amazingly, babies will spend longer looking at photographs of beautiful adult faces. These faces have big eyes, clear skin, and full lips. Facial beauty is important and will open many doors for a person. Studies show that people with attractive faces are hired for better jobs.

5 In September 1960, two men with similar backgrounds were competing for a top job. The face-to-face meetings between the two were broadcast on television and also over the radio. People who only listened felt that one man was preferable, while those who watched the face-off believed that the other man was better. Two months later, the American people selected the winner:
10 John Fitzgerald Kennedy. In the televised debates, Kennedy's opponent, Richard Nixon, looked sweaty and as if he needed a shave.

There seem to be universal ideas of beautiful faces. A study of 18 photographs of faces found that people of different ages and cultural backgrounds ranked them in the same order of beauty 97 percent of the
15 time! One key feature is symmetry, meaning that both sides of the face are the same size and shape—normally a sign of good health. Another feature is balance. Plants and animals grow by a clear mathematical Golden Ratio of 1:1.618. Many parts of a beautiful face, like the ratio between the width of the nose and the lips, as well as the width of the lips and the cheeks match
20 this ratio exactly (even across different cultures and races).

Beautiful people like Helen of Troy, whose face was said to have “launched a thousand ships,” are rare, but today's mass media shows us too many examples, making some people discontent with their partners or themselves. So, let's always remember that our faces in our 20s are the ones we were
25 born with, but those in our 50s are the ones we have created.



Comprehension Check

■ Listen to the DVD and choose the best answer.

1. **a.** people who open many doors **b.** people who look good in a photo
c. people with beautiful faces

2. **a.** John F. Kennedy **b.** Richard Nixon
c. both John F. Kennedy and Richard Nixon

3. **a.** age and cultural background **b.** culture and race
c. symmetry and balance

4. **a.** Helen of Troy's face **b.** our faces in our 20s **c.** our faces in our 50s



Useful Expressions

■ Listen to the DVD and write down each sentence.

1. _____
2. _____

■ Make your own sentences using the useful expressions.

1. _____
2. _____

Memo